

## 『平成22年度 現場研修会（函館）』報告

### 1. はじめに

北海道コンクリート診断士会の現場研修会も2回目となり、研修先に関する会員アンケートの結果、函館市に決まりました。研修先として土木遺産と補修事例を中心に選定しました。

### 2. 研修概要

研修日時：平成22年9月17日（金）

研修先／講師：

#### ①補修事例（擁壁）

ガイド：神田 貴尚（診断士会 幹事）

#### ②笹流ダム

講師：齊藤 和久氏

（函館市水道局事業部）

#### ③函館山砲台跡、

#### ④戸井線アーチ橋群

講師：葦澤 憲吉氏

（函館産業遺産研究会）

参加人：19名

### 3. 研修報告

#### \* 日本最古のコンクリート電柱（追加）

①の現地に向かう途中にあるため、追加研修先として寄りました。説明看板には「高さ10mのこのコンクリート電柱は現場打ち工法で～」と書かれており、参加者は大正時代の施工技術に注目していました。大正10年の函館大火後の耐火建築の一環として採用したようです。



写真1 コンクリート電柱の研修

#### ① 補修事例（擁壁）

実際の補修した擁壁について、補修前の劣化状況・調査診断・補修工法について説明しました。参加者からは、補修設計や補修に関する質問が多く、関心の高さを感じました。



写真2 補修した擁壁の研修

#### ② 笹流ダム

このダムは大正12年に竣工した日本初のバットレスダムです。齊藤講師には、このダムの工法選定（低コストなど）や、維持管理の経緯（昭和58年の大改修など）の説明がありました。平成13年には土木学会選奨土木遺産に、平成20年には近代化産業遺産として認定されており、現在も函館市民の水がめとして機能しているそうです。



写真3 笹流ダムの研修

### ③ 函館山砲台跡

函館山山頂へ移動し、第一砲台跡地へ。函館山の要塞として明治33年に竣工しましたが、現在はロープウェイ山頂駅になってます。通路の奥にある地下通路入り口へ移動、内部の構造の説明などがありました。頭上にある桁の上は、山頂の駐車スペースになってます。



写真4 奥の地下通路入り口の研修

山頂より少し下のつつじ山駐車場へバスで移動、徒歩で観光用迂回路を通り御殿山第二砲台跡地へ。砲台の配置や階段下の弾薬庫の構造について説明がありました。



写真5 御殿山第二砲台跡地の研修

### ④ 戸井線アーチ橋群

函館山から恵山方面へ移動、途中の汐首岬付近にある戸井線アーチ橋群の1つである汐首陸橋の研修です。建設時は鉄不足の時代ということで、無筋コンクリート構造とのことです。

残り3橋(瀬田来第1陸橋・瀬田来第2陸橋・蓬内橋)はバス移動中に車内から確認しつつ説明をして頂きました。中でも蓬内橋は23年度に架け替えのため取り壊しが決定しているそうで、貴重な研修になりました。



写真6 汐首陸橋の研修

#### \* 汐首岬第一砲台 (追加)

菫澤講師のお勧めで追加しました。構造物表面の迷彩色は当時のもので、青森県の大間砲台とセットで津軽海峡東側を防衛したそうです。



写真7 汐首岬第一砲台の研修

### 4. 終わりに

当日は天候もよく、無事終了することができました。講師の斉藤様、菫沢様には施工や補修の歴史を丁寧にしていただき、参加者の方々も熱心に研修を受けていました。皆様、ご協力ありがとうございました。



(文責: 神田貴尚)